科目ナンバリング	U-LAS25 10007 SJ48						
授業科目名 <英訳>	イタリア語ＩＢ（４Ｈコース） I1301 Italian IB			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　霜田　洋祐		
群	外国語科目群	分野(分類)			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	4単位	週コマ数	2コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	火5・金4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

この授業では、イタリア語の文法の基礎をしっかり学び、読み書きに必要な知識と比較的簡単なレベルの読物を自力で読める程度の読解力を身につけることを目指している。これは、各自が専門とする領域のイタリア語文献を読む能力の基礎を形成するはずである。
また、イタリア語の発音は日本語話者にとって比較的容易なため、教科書例文等の発音練習をきちんと行い、音声教材を聞くだけでも、イタリア語での会話能力を身につける準備として有益である。

[到達目標]

イタリア語の文法の基礎を身につける。それをもとに平易な文章であれば、辞書を調べて自力で読めるようになる。
同時に、簡単なイタリア語の文を作って（書いて）正しく発音（音読）でき、短い文の聞き取りもできる程度の運用能力も身につける。

[授業計画と内容]

教科書を中心に文法の基礎を身につけていく。
また学期の後半には、簡単なテクストの講読に挑戦する。

第1回 前期の復習
第2, 3回 Lezione 13 [比較級・最上級]
第4, 5回 Lezione 14 [関係詞]
第6, 7回 Lezione 15 [ジェルンディオ]
第8, 9回 Lezione 16 [条件法]
第10回 ciとne
第11, 12, 13回 Lezione 17 [接続法・仮定文]
第14回 中間試験
第15回 解説、ここまでの復習
第16回 遠過去、過去形の使い分け
第17-28回 テクスト読解と文法復習

第15週 期末試験/学習到達度の評価
第16週 フィードバック(期末試験の振り返りと春休み中の自学の方法について説明)

以上の予定で進めて行くが、授業参加者の理解度に応じて進度が多少変わる場合もある。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

平常点（練習問題への取り組み、授業への参加姿勢、小テスト、テクストの理解等）30%
試験（中間と期末の割合は授業内で説明）70%

イタリア語ＩＢ（４Ｈコース） I1301(2)へ続く↓↓↓

イタリア語ＩＢ（４Ｈコース） I1301(2)

[教科書]

杉本 裕之 『Corso d'italiano 基礎イタリア語講座 三訂版』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-55318-4（辞書は必ず小学館『伊和中辞典』あるいは白水社『プリーモ伊和辞典』を用意してください。これより小さい辞書では授業に対応できません。『伊和中辞典』が入っていれば電子辞書でも構いません。）
講読テクストについてはプリント等を配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

【予習】指示に従って教科書や教員が配布するプリントの練習問題に取り組むこと。また会話文も次に読むと思われる部分は、辞書で語彙を調べ、文法事項を確認しながら、あらかじめ意味を考えておくことが必要である。テクストの講読に入ったら、同じく語彙を調べ文法事項を確認し意味を考えた上で授業に臨むこと。教科書の会話文はリスニングと音読練習、講読テクストは音読練習をしてきてほしい。
【復習】動詞の活用をしっかり覚えることが復習の中心部分を占める。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーは金曜2限です（事前に連絡してもらえると確実です）。気軽に相談に来てください。
とはいえ、授業内容に関する質問はなるべく授業中に受けたいと思います。遠慮なく積極的に質問してください。